

2025年6月2日

6月になりましたね。6月といえば、大谷翔平選手がいっぱい打ち出す月ですけど、もうすでに5月までもいっぱい打ってますからね、これからどうなるのやら、というところですが、最近、私も大リーグの試合を見たり、ハイライトを見たりする機会が増えました。

試合を観ていると、やはり「流れ」というのがありますね。

いい流れになったり悪い流れになったり。例えば、ノーアウト満塁のチャンスに無得点で終わってしまったら、大概、次の回には点を取られたりしますよね。悪い流れになってしまってるんですよね。簡単な打球をエラーしてしまったりした時も、悪い流れになって、何をやってもうまくいかなくなる。

逆に、ピシャッと抑えたり、ファインプレーなんか出ると、いい流れになったりしますよね。ヒットがつながり出して、点が入ったりするんですよ。

私は毎週テニスの試合をしていますけれど、テニスでも「流れ」はあります。イージーな、簡単にパコンと打ってポイントが取れそうなボールをネットに引っ掛けてしまったりとかすると、悪い流れになってしまってもううまくいかなくなりますね。

この「流れ」というのは、仕事においても会社においてもあります。

科学者と呼ばれる方に言わせれば、「ミスやエラーというものにはそれぞれに理由や原因があるんであって、流れなんてものはない!」となるんでしょうけど、私はそれには真向から反論します。

「流れ」というのはやっぱりあるんですよ。いい流れの時にはうまくいきやすいし、悪い流れの時にはうまくいかないことが多い。

いい流れと悪い流れは必ず訪れるんですよ。

でも、悪い流れの時間を短くすることはできます。

悪い流れの時には、「前向きに、誠実に」対応すること。悪い流れでうまくいかないからと、腐ったり落ち込んだりしていると、悪い流れからなかなか抜け出せません。我慢して、「前向きに、誠実に」対応していると、必ずいい流れがやってきます。

来週、私はテニスの大会に出ますけれども、この意識でやっていきたいと思いますし、最近何をやってもうまくいかないなあという人も、いい流れがくるように、「前向きに、誠実に」取り組んでいただければと思います。

以上

代表取締役社長 角高哲治